

2020.10.02

【英国】ボーダフォン、がん研究アプリ「ドリームラボ」内の COVID-19 治療研究のフェーズ 1 がほぼ完了したことを発表

ボーダフォンは、9月1日、がん研究アプリ「ドリームラボアプリ (DreamLab app)」内の「Corona-AI プロジェクト」による COVID-19 の治療法研究のフェーズ 1 がほぼ完了したことを発表した。

「ドリームラボ」アプリは、ボーダフォン財団及びインペリアルカレッジロンドンが共同開発したアプリで、人々のスマートフォンを利用し、がん研究を支援する。

毎晩、人々がスマートフォンを充電しつつ、ドリームラボのアプリを起動することで、寝ている間に、これらのスマートフォンの処理能力が合わさり、仮想のスーパーコンピューターとして、科学的データを高速処理することができる。

ボーダフォンは、同アプリを使用して「Corona-AI プロジェクト」を立ち上げており、食品や薬を使用した COVID-19 の治療法を研究している。

同プロジェクトは、人々が COVID-19 に感染するのを防ぐことが目的ではなく、感染した後の治療法を探し、体への COVID-19 の影響の期間、深刻度を軽減する方法を探している。インペリアルカレッジロンドンの研究者は、ウイルスと人体のたんぱく質間の相互作用に焦点を当てているとした。

今回実施されたプロジェクトのフェーズ 1 では、AI により既存の薬物や食品分子が COVID-19 の遺伝的プロファイルに及ぼす影響を数学的なシミュレーションでモデル化した。

数千という既存の薬及び食品分子が調査されることから、約 1 億の計算が必要となったが、ドリームラボを使用することで、約 14 万台の端末を利用し、毎晩約 130 万回の計算を完了することが可能となった。

今後、フェーズ 2 では、疾患に対する薬の相乗効果のある組み合わせと食品の組み合わせを検討する。